

親子のコミュニケーションの実態

1 進路について話す頻度

■高校生の75%、保護者の89%が「話をする」と回答

2 進路選択における相談相手

■「母親」が最多で78%、「父親」は40%

■全体では父親や先生よりも友人に相談

3 進路に関する保護者の行動・態度

■「あたたかく見守っている」と感じている高校生が60%

■進路について話す人ほど、保護者の行動・態度を肯定

4 進路に関して保護者にして欲しい行動・態度

- ①私の考えを尊重する
- ②私の話をちゃんと聞く
- ③具体的にアドバイスする
- ④あたたかく見守っている
- ⑤進路について私よりも詳しく情報収集する
- ⑥励ましてくれる
- ⑦放っておいてくれる
- ⑧相談にのってくれる
- ⑨今の進路や進学について知っている
- ⑩私の進路について関心をもっている

5 進路に関して保護者にやめて欲しい行動・態度

- ①望みを高くもちすぎないで欲しい
- ②勉強や成績の話ばかりするのはやめて欲しい
- ③自分の考えを押しつけないで欲しい
- ④プレッシャーばかりかけないで欲しい
- ⑤頭ごなしに夢や進学先の希望を否定しないで
- ⑥自分の経験だけをもとに話さないで欲しい
- ⑦夢や進学先をバカにしないで欲しい
- ⑧お金の話ばかりするのはやめて欲しい
- ⑨思いつきでアドバイスしないで欲しい
- ⑩好きなことしなさいで終わらないで欲しい
- ⑪就職が有利というだけで進路を勧めないで
- ⑫放っておくのはやめて欲しい

※第4回「高校生と保護者の進路に関する意識調査」（2009）報告書より抜粋
 調査対象：全国の高校2年生をもつ保護者とその子ども
 [(社)全国高等学校PTA連合会・(株)リクルート調べ]